

広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第11号 2001年 5月発行 ●
(製作 JCI凌雲SOHO教室)

◆特定非営利活動法人◆ どりーまあサービス

〒770-0855
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階
TEL (088)626-3237
FAX (088)611-7035
E-mail:dramer@nmt.ne.jp
発行責任者 山口 浩志

地区別・サービス形態別表(会員数)

平成13年4月現在

	家 事	介 護	移 送	移 送 介 護	移 送 家 事	移 送 子 守 り	介 護 家 事	カ ン ド ヘル パー	見 守 り	子 守 り	異 域 話 し 手	話 し 相 手	代 行 手 続	入 院 付 添 い	通 院 付 添 い	小 計	協 力 会 員	合 計
徳島市	56	9	42	1	23		24	5	4	2	9	5	2	15	1	198	126	324
鳴門市	1	3	4	1	2				2							13	8	21
阿南市	1		1		2											4	5	9
小松島市	2	1	10		1								1	2		17	11	28
石井町			7						2		1					10	7	17
鴨島町	4	3	18		2		1							1		29	16	45
川島町			3													3	15	18
山川町	1	2									1					4	4	8
穴吹町																0	1	1
藤町町		1														1	2	3
市場町			1													1	1	2
土成町		3			2									1		6	4	10
吉野町		1	2		1											4	1	5
上板町			4													4		4
板野町	1	1	2				1									5	2	7
藍住町	1		2					1			1			1		6	8	14
北島町			2											1		3	5	8
松茂町			1	1			1									3	4	7
佐那河内村																0	2	2
勝浦町																0	1	1
羽ノ浦町	1				1											2	2	4
阿波町																0	1	1
海南町														1		1		1
三加茂町																0	1	1
神山町																0	1	1
神戸市																0	1	1
合 計	68	27	96	3	33	1	27	10	4	2	12	5	3	22	1	314	229	543

目次

みんなの広場・活動の紹介 2・3面 JCI凌雲SOHO教室紹介 6面
 団体探訪・徳島銀行融資協力 4面 事業報告・事務局だより 7面
 声 5面 活動報告・活動実績 8面

「感動の数が入生の値打ちを決める！」



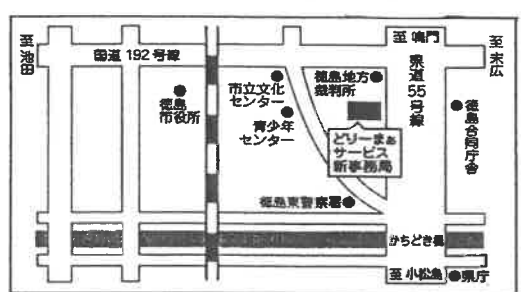
理事長 山口 浩志

活動の中で人生のドラマを体験させていただいております。どんな出来事でも、その一つひとつが今につながっています。そして、未来を意識している人だけが今この時を最大限に生かすことができるのだと信じてやみません。

介護の現場は、人それぞれの生き方・価値観・人柄そのものがテーマです。そして、そうした人との出会いの数だけドラマがあり、感動が生まれます。

水も空気も流れが止まればよどんでしまうように、どのような状況でも一度決めたことに向かって動いていると必ずいい結果が出てきます。私は今、その時の感動を共有できる多くの仲間に出会えたことに感謝しています。

インフォメーション



〒770-0855
徳島県徳島市新蔵町1丁目95番地 フジビル5F
TEL(088)626-3237 FAX(088)611-7035

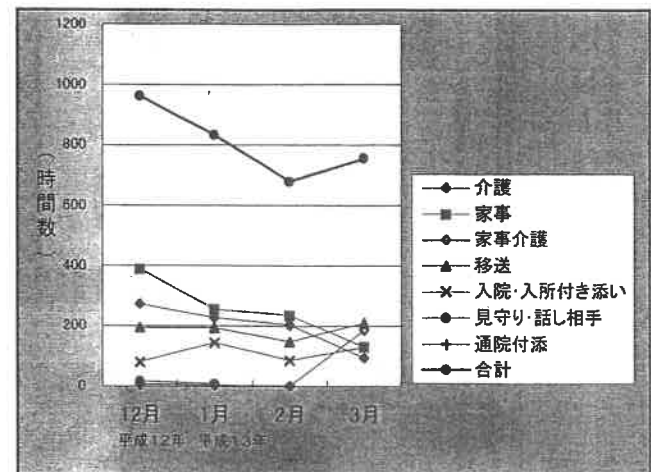
事務所移転のお知らせ

平成13年4月より新たなオフィスでのスタートとなりました。お近くへお越しの折にはぜひお立ち寄り下さい。



活動実績(時間数)

	介 護	家 事	家 事 介 護	移 送	所 付 添 い	話 し 相 手	見 守 り	通 院 付 添 い	合 計
平成12年12月	273.0	389.5	6.5	195.5	81.0	17.5			963.0
平成13年1月	227.0	255.0	4.0	193.5	145.0	9.0			833.5
2月	204.5	235.0	2.5	149.0	87.0		1.0		679.0
3月	95.0	131.5	188.0	211.0	130.5				756.0



活動報告

- 1/10(水) とくぎんサクセスクラブ新年互礼会 (於: アスティ徳島)
- 1/12(金) K氏ケースカンファレンス及び血圧測定研修 (於: どりーまあOffice)
- 1/16(火) 主任会議 (於: どりーまあOffice)
- 1/17(水) 法人会計ミーティング (於: どりーまあOffice 藤井会計士指導)
- 1/18(木) 三幸福社カレッジ実習担当者との実習打ち合わせ
- 1/21(日) 難病患者支援検討会議 (於: 眉山会館)
- 1/22(月) さわやか憩和会参加 (於: 鴨島セントラルホテル)
- 1/23(火) 難病対策実務者会議 (於: 徳島保健所)
- 2/7(水) 介護保険認定調査立会い
- 2/15(木) NHK視聴者会議出席 (於: NHK徳島放送局内)
- 2/21(水) 難病ボランティア情報交流会 (於: 県総合福祉センター)
- 2/22(木) さわやか福祉財団年次総会出席 (於: 東京abc会館)
- 2/23(金) 自立生活支援センター立川訪問
- 2/25(日) オレンジ荘ボランティア研修会講演 (於: デイサービスC. みかんの郷 徳島SHC研究会セミナー (於: サンライフ北島)
- 3/3(土) F氏ケースカンファレンス (於: どりーまあOffice)
- 3/11(日) 難病患者支援シンポジウム (於: 阿南ひまわり会館)
- 3/16(金) 三幸福社カレッジ実習オリエンテーション (於: 赤枝ビル)
- 3/17(土) 事務所引越し
- 3/24(土) 内部障害者の会年次総会出席
- 3/25(日) 徳島SHC研究会セミナー・研究発表 (於: サンライフ北島)
- 3/28(水) H氏 サービス担当者会議 (於: H氏宅)

平成12年度事業報告と今後の展望

12年度においては当初目標としていた組織の基礎固めを重点課題として取り組んでまいりました。介護保険制度や福祉制度改革といった社会的動向に振り回されることなく、日々地域でのたすけあい活動を淡々とこなしてきました。

これからも、「新しい家族像」を自らのシステムの中から構築していく気持ちを貫き、あくまでも「在宅」にこだわり続け、本物の支援体制を追い求めてまいります。

特に本年は、これまでの実績を参考にし、各分野での専門性を高める努力と更なる組織の基盤強化に努めてゆく決意をいたしております。

今後の事業内容

- ① 住民参加型サービス活動の充実
- ② 移送サービスの多様化
- ③ 会報発行の充実（現場での多くの声を反映していく）
- ④ 関連企業(株)山口コーポレーションとの連携
- ⑤ 人事・労務管理の徹底
- ⑥ 諸規定の整備
- ⑦ 難病患者支援体制の取り組み

徳島 SHC 研究会の新規事業（難病電話相談）の啓発
同研究会ニュースレター発刊の充実

スタッフ紹介

この度、事務局に新しいスタッフが参画いたしました。これまでと同様皆様からのご指導をよろしくお願いたします。

★桂 文子（事務）

お知らせ

(有)山口コーポレーション始動
平成十三年一月、どりーまあサービスの関連会社(山口コーポレーション)が設立いたしました。事業内容は在宅介護分野です。法人格の違いはあれ、これまでのたすけあい精神のもとスタッフ一同頑張っております。

寄附

「寄附ありがとうございます」
・古津美津江
・フコク生命
・櫻川治療院
(敬称略)

事務局だより

いつでもお申し込み
フコク生命 介護が必要になったら…
大切なことから……しっかり考えたい
充実の総合介護保険
ファミリーGP 新登場!!
【定期付預立型介護保険】+【医療保険】
フコク生命 徳島支社
徳島支社ビルが
親戚執事が付!!
〒770-0847 徳島市幸町1-44 フコク生命ビル
(代表)088-823-0211
(FAX)088-823-0225

かつては病院で検査助手として勤めた経歴のある太田さんですが、ヘルパーとして働く前は事務系の仕事が多かったそうです。
最初のうちは「本人も「私にできるでしょうか。」と顔を合わす度に口にしていたようですが、今では新規利用者への訪問があっても「何とかなるでしょう。」と度胸バツグン!!
「時には落ち込む事もあるけど、どんな事からでも前向きに取り組んでいけば、ご利用者の方からいろいろな事をやらせてもらえたり

自分にとって利用者の方は 家族のように思えます 太田啓子さん



教えてくれたりするので楽しいです。一人ひとりの利用者の方を自分の家族のつもりでお世話させていただきたいです。
この真心こそ今の時代に求められているヘルパー像でしょうネ。

み
ん
な
の

信念

NPO活動を始めて今年で二年目になる小谷さんです。きっかけは徳島新聞「あどねっと」欄を見て知ったそうです。「新聞を開ける度にボランティア募集が掲載されていたのでよほど人が足りないんだろなあと思っていました。」と。(うーん、ずぼし!)カンがいい彼女ですが、今は勤務先の鳴門市から阿南市の自宅までの帰宅途中で夜間サービス二時間を週二回こなす行動派です。そうした生活の中で、社会福祉士・産業カウンセラーの資格を次々と見事取得されています。

小谷尚子さん



「これからもNPOの仲間として自分自身の生活にこの活動が自然になじめていけるよう成長していきたいですネ。」
おっとりした性格からは想像もつかない彼女のパワーにこれからもエールを送り続けたいものです。

広
場

将来自立して自分の力で生活していく事を目標としてパソコン操作のトレーニングに懸命に頑張っておられる、生活支援センター「雲利用者の皆さんですが、社会へ飛び立つ準備をするその志たるや真剣そのものです。少しでもその夢を叶えるお手伝いが出来れば、この思いからこの度「どりーまあ通信」はこの勇士達に委託させて頂きました。紙面を通してメンバーの奮闘の姿を紹介させて頂きます。

障 害者が、在宅で仕事をする事は大変大きな意義があります。しかし大きな壁があるのも事実です。早急に移動手段を確保したいものです。

尾澤 卓幸

学 校に行っていた時はパソコンクラブに入り、リーダーを三年務めました。雲に通信友達と知り合い、パソコン講座を受けています。またこれからパソコン関係の勉強をしていきたいと思います。

平山 裕二

高 二で通信制の高校に通っています。最初は文字打ちだけしか出来なかったのが今では、JCIという組織と知り合い仕事出来る状態までになったことが何よりもうれしいことです。だから、これからもより一層、皆で協力しながら頑張っていきます。

増田 誉大

中 学一年生の時にワープロと出会いました。最初は文字打ちだけしか出来なかったのが今では、JCIという組織と知り合い仕事出来る状態までになったことが何よりもうれしいことです。だから、これからもより一層、皆で協力しながら頑張っていきます。

増田 誉大



在 宅酸素がなければ生活出来ない体になってしまいました。でも、在宅酸素が必要な体になってしまいましたので辞めました。その為にも、パソコンを使って少しでも色々出来るように少しでも社会参加しているという気持ちを取り戻したいです。

高土 貴美子

夢未来

パ ソンコンを始めて九ヶ月たちつた。始めの頃、文字を打つだけでも時間がかかり大変でした。それから、今までパソコンでの仕事を始めて来ても思う事は、締め切りがあるのでそれに間に合わせなければならぬ、字の間違いはなく正確にしなければならぬので大変です。それにどんな仕事もとにかく大変です。

幸野 早苗

卒 業する前から「パソコンを使って仕事ができればいいな」と思っていました。そこに猪子先生のパソコン講座が始まると聞き、参加させて頂く事にしました。今では勉強しながら、少しずつ仕事をさせて貰っています。パソコン以外にもう一つ点字の勉強をしています。これからもいろいろな勉強をしていきたいです。

近藤 美恵

夢叶える未来(あした)にしようね。

JCI代表 猪子 和幸

昨年5月末に「JCI(情報コアINOKO) 雲教室」が開講して以来十か月、月二回の勉強会は、乾いた砂地に水がしみ込むように言葉が届き、スキルアップに繋がって行く時間の経過が、教える身にとって何よりの喜びでありました。

この教室の先進的な試みがきっかけとなって、今年から障害者の自立を目指すパソコン講習会が全県規模で展開されます。

これからも、この教室が「パイオニア」であり続けることを切望します。

終始、私の雑駁な指導を補ってくださった、松下さん、平石さん、斎藤さん、「どりーまあ通信」のコーディネートを託してくださった山口様、本当にありがとうございます。

障害者支援センター 雲 S・W 松下 義雄

「パソコンで仕事がしたい。」そんな夢をなんとか実現しようと、一年みんなで勉強してきました。一人一人の力は小さなものかもしれませんが、しかし、その力を合わせることで社会の中でも十分活躍出来る。「障害者だから」「ハンディがあるから」保護ではなく、ハンディがあっても、自分の夢を実現出来る、チャレンジング出来る社会であって欲しい。

覇気

去る三月十一日(日)、阿南市ひまわり会館において、難病患者支援シンポジウムが開催され、NPOの立場から山口浩志がシンポジストとして参加しました。

会合は、徳島神経自助ケア研究会会長である西田善彦先生の「難病の基礎知識」についての基調講演を皮切りに始まりました。

阿南市保健所長、倉橋佳英氏の座長のもとシンポジウムでは、患者・家族の立場から福井玲子氏(パーキンソン病友の会徳島支部長)、ボランティアの立場から小笠原直子氏、社協の立場から影石公昭氏(県市町村社協連絡会会長)、行政の立場から佐藤信二氏(阿南保健所疾病対策係長)、NPOの立場から山口浩志の五名がそれぞれの意見を発表しました。

各シンポジストは立場の違いこそあれ、難病患者やその家族の生活の質の向上を目指しその為のしくみづくりと連携体制に

志を言葉に、言葉を形に!!

全力で取り組もうといった思いで一致していたと思います。今後はボランティアの育成、難病対策事業の浸透、市民の協力・理解等超えるべきハードルは山積していますが、百名を超える参加者の熱意ある表情は課題解決への大きな力になると確信いたしました。

今回の会合をきっかけに支援体制に「魂」を入れるため、どりーまあサービスとしても今後多種々の市民パワーを発信してまいります。

介護道をゆく

生まれ育った環境が9人家族という大家族で、祖父や祖母とも一緒に暮らしてきた佐古さんですが、「結局自分からは何にもしてあげられなかったんです。」と、家族思いの一面が言葉の端々からうかがえます。今の自分にできることは身内の高齢者にできなかつた事を社会で手助けを必要としている方々に少しでも役に立ちたいと思いはじめ、今回のヘルパー受講につながったそうです。

今では「せつかく資格がとれたんですから、覚えているうちに早く仕事に就きたいですね。」と意欲満々です。将来の夢は、誰からも気軽に頼ん

でもらえるヘルパーになる事だそう。

佐古さん他、今回「三幸福社カレッジ」から巣立ったフレッシュなヘルパーさんたち、本当にお疲れ様でした。そしてこれからも頑張ってください。



いよいよ、よ正念場

各シンポジストは立場の違いこそあれ、難病患者やその家族の生活の質の向上を目指しその為のしくみづくりと連携体制に



鍛錬

夢は、誰からも気軽に頼ん



探訪

二月二十三日(金)、「自立生活支援センター(通称JIL)立川」を訪ねてきました。ここでは、野口俊彦代表と菊池洋子事務局長を中心に事務所内には静かなる躍動感がみなぎっており、説明を聞いていくうちに、本物の自立した生き方を学ぶことができました。

「自立」していくための決断と行動力

障害をもった人たちが自ら運営し、障害者の自立生活を支えていく目的で一九九一年に当事者団体として設立されました。当時、「一人の人間として地域で生活していこう。」といった思いの人が集まって自分たちで駅前や大学講内、公民館等でチラシを配り協力者を探したそうです。

野口代表もそのうちの一人です。両親から施設入所の話を持ち込まれた時、与えられるサービスの中で生きていくことに抵抗があり障害があっても地域で生活しつづけるコンセンサスを持ちつづけたかったそうです。恐らくこれまでの過程では数えきれないくらいの挫折やつまづきを経験されたことでしょう。

「障害があるということは



私の個性であり生活プログラムのリーダーは常に自分でなければなりません。他人に与えられると自立にならないんです。」と笑顔で話される野口代表でしたが、久しぶりに『輝く力』にめぐり逢えたようである感動的な一日でした。

NPO法人に融資実現

「徳島銀行」の決断に地域からも感動の拍手

バブル経済破壊から十年。金融機関を取り巻く環境は猛スピードで変貌を遂げてきました。しかし、形が変わっても我々地域金融機関が追及していくことはただひとつ。「地域経済にいかに関与できるか」であります。

そんな折、とあるきっかけで私はどりーまあサービスさんに出会い、お付き合いを頂くことになりました。介護保険に対応した在宅サービス提供を行う法人。徳島県初のNPO認証取得法人。新制度に積極参入する姿勢は興味深いが、全てが新しく、正直なところ最初はその内容を理解するのに時間がかかりました。

ある新聞で「介護サービス提供NPO 資金繰りに頭痛める」という記事を見ました。介護保険はその制度上、サービス提供から実際に報酬を受け取る



担当金融マンからのメッセージ

徳島銀行 昭和町支店
筒井克典

スタッフの輝く瞳に答あり!

まで二〜三ヶ月かかり、活動資金の一次的立替需要が発生します。しかしながら、そもそも任意団体からのスタートとなるNPOは①法人資産の乏しさ②非営利組織である等の理由から金融機関も消極姿勢を示し、全国的にNPOの資金調達難が生じているということでした。

適正な融資判断の結果、健全な資金として活用され、将来性が見込めるのなら積極的に取り組むべきというのが当行の融資に対する基本スタンスであります。最終的な決め手となるのは資産でも数字でもなく、そこに働く人たちの熱意であります。山口理事長をはじめ、スタッフが眼を輝かせ、一丸となっている姿に結論ができました。そんな熱意に少しでも貢献できたなら、私は今、一金融マンとして充実感を覚えています。

社会保険労務士 立石 修

顧問社労士



一般的に、企業の成長、発展の要は「ヒト」「モノ」「カネ」といわれております。どの要素が欠けても十分な機能を果たすことは出来ません。この中で最も重要なものを一つ挙げるとするならば「ヒト」だと言えます。昔から企業は「人と成り」とよく言われますが、まったくその通りだと思えます。そんな「ヒト」に関わる仕事が社会保険労務士の業務とするとどこであります。



会計顧問



藤井 幹雄

私は、今までボランティアといわれることをしたこ

一言でいえば、「ヒト」の採用から退職していくまでの人事・労務に携わる業務全般であります。

さて、この度、機会があつて、理事長さんから就業規則の整備をしたいとの要請があり、お引き受けした次第であります。

ご存知の通り、就業規則は、社員の方々に共通する具体的な条件を定めたものであり、企業が円滑に仕事を進めるために社員の方々が守るべき規律であります。これを明文化することにより、企業は統一的に労働力

の管理を行うことができ、経営の安定化を図ることが出来るものであります。

一方、社員の方々の労働条件や規律が明らかにされることで、身分の保証を得られ安心して働けるという効果がもたらされます。いわば、国に憲法が存在するように、就業規則を造り上げる使命があるわけですね。

社会保険労務士として、生き生きとした企業風土を造ることを目的とし、より生産性を高めていくための企業組織とはどのよ

うなものなのか、また、そのことが結果として社会的貢献をしていくためにはどのようにすればよいか等を課題としており、新しい時代の新しい社労士像を追い求めて努力していくことが必要だと考えております。

最後に、当法人の発展に間接的ながら、一つでもお役に立つことが出来るよう、今後もお手伝いさせていただきます。と思います。

平成十三年 三月十五日

上に成り立って行くはずだと信じて関わらせて頂きました。

在宅に向かせて頂き、直接に家事や身体のお世話をさせて頂くことは、現在の生活上難しいです。しかし、「会計の仕事や、その付随業務をやらせていただくことで、皆さんの生活に少しでも笑顔が増えてくれれば」と強く願ひ、関わらせていただいています。また皆様の笑顔を感じ、自分の役割を果たすことで、私もボランティアの一員として少しでも皆さんのお役に立てるのではと考えています。

とがありません。特に、「しなくなかった」と言う訳ではありません。少し見栄を張らせて頂くとすれば、「したいがどうすればいいかわからない」という言い訳が出てきます。

どりーまあサービスさん

とは、NPO法人設立という仕事を通しての関わりとなりましたが業務遂行の上で、私に与えられた仕事をやりとげれば、必ずやどりーまあサービスさんに関わっている方々の笑顔が一段と増し、より強固な土台の

皆さんが共に助け合い、よく頑張っておられることは、山口代表よりよく聞かせて頂いております。私も皆様に負けないよう皆様のために頑張りたいいなあと思っております。